

第1438回例会



■会 長：井上誠士 ■幹 事：河田明成
 ■会報 IT 委員会：守屋 護(委員長)、森下新一(副委員長)、遠藤秀幸、齋藤紀美孝、関根正司、伊藤信吾
 ■例会場：中国名菜 敦煌(相模原市中央区相模原 2 丁目 13 番 1 号)
 ■例会日：毎週金曜日 ■事務局：相模原市中央区中央 3-7-9 リトルウッズ中央 301
 ■T E L: 042(714)1111 ■F A X: 042(714)1111
 ■E - m a i l: info@greenrotary.jp ■http://www.greenrotary.jp

DATE : 12. 21. Sat **本日のプログラム**

「クリスマス例会」移動・夜間例会
 会場:新横浜プリンスホテル 点鐘:18 時

DATE : 01. 10. Fri **次週予告**

「外部卓話」NPO 法人フェアスタートサポート
 代表理事 永岡鉄平様/ コーディネーター 青山なつみ様

□前回のプログラム/第 1437 回 令和 6 年 12 月 13 日(金)
 点鐘 12:30 例会場:中国名菜 敦煌 3 階
 斉唱「それでこそロータリー」「たき火」
 ソングリーダー 山本正司君
 ピアノ奏者 田中知子さん

□出席表

会員	出席対象者	出席者	出席率	前々回修正率
45 名	43 名	28 名	66.67%	62.22%

事後 MU 澁谷、福山、矢越

会長報告 **井上 誠 士**

本日は、澁谷委員長に先日地区で開催した、地区職業奉仕卓話セミナーの卓話をしていただきます。よろしくお願いたします。年末押し迫る中、弊社ではお歳暮を小川のたまごさんの50個入りのたまごをお客様に約200個配ります。社内での一大イベントです。来週一週間で配らなくてはいけないので、配達と営業が総出で頑張らないと配り終えない年末のイベントを楽しみたいのです。

今月は、ロータリー疾病予防と治療月間です。ロータリー会員は、マラリア、エイズ/HIV、アルツハイマー型認知症、多発性硬化症、糖尿病など、さまざまな疾病の予防と治療に携わっています。また、貧困地域の人たちを対象とした聴覚、眼科、歯科検診も実施しています。疾病との闘いでは、患者への直接的なサポートだけでなく、地域社会全体のキャンペーンを高めることも重要となります。

その例です。
 ■地元の保健従事者を対象とした医療ワークショップの開催
 ■地元の医療・保健インフラを向上するプロジェクトの実施
 ■主な疾病の拡散を防ぐための地域住民の啓発・動員
 ■疾病・怪我を原因とする身体障害を防止するプログラムの支援
 ■疾病予防・治療分野でのキャリア構築をめざす学生への各種サポート

ロータリーには、「疾病との闘い」分野で活動する13のロータリアン行動グループがあります。クラブや地区でこの分野のプロジェクトを実施する際は、グループと協力することも出来ますので、何かありましたら相談ください。

さて、今日は何の日です。
 12月13日は、大掃除の日、正月事始め、師走に遺産を考える日、ビタミンの日です。

●大掃除の日
 1年の汚れを落としてきれいな状態で新年を迎えるために制定された日。12月13日が古くから「すす払いの日」とされていることから。

●正月事始め
 お正月に年神様を迎える準備を始める日。旧暦12月13日が、婚礼(こんれい)以外のすべてのことに吉である「鬼(き)」の日であったことから。

●師走(しわす)に遺産(相続)を考える日
 相続について考え、家族で話し合うきっかけにしてほしいという願いを込めて制定された日。「い(1)さん(3)」の語呂合わせから。

●ビタミンの日
 1910年12月13日、のちにビタミンB1と同じ物質であることがわかった成分「オリザニン」が学会で発表されたことから。

幹事報告 河田明成幹事

◎米山功労クラブ感謝状が届いております。こちらは、累計寄付金額が100万円を超えといただけます。
 ◎先月のお弁当廃棄数は3個でした。
 欠席される場合は、欠席連絡をお願い致します。

<12月の定例理事会報告>

- 1、「クリスマス例会」企画書通りでよい。
- 2、12/31付退会の会員を承認。
- 3、東京ピースウイングロータリーEクラブを活動計画書のWEBメークアップ説明最後のEクラブ名に追加。
- 4、1/10は「クラブ協議会」ではなく「外部卓話」、5/16「相撲観戦」は人気の為、日程がずれる可能性あり。
- 5、12/21(土)クリスマス例会の時に年次総会を開く。
- 6、クラブ細則に理事会の議決権を委任する条項がないので、委任できるよう細則を変更する。
- 7、【臨時決議】志村真利さんの入会を承認。

報告事項:1/10(金)の卓話者からの募金箱設置希望については、卓話の最後に会員へ説明し募金を募ってもらうようにする。

「職業奉仕」

職業奉仕委員長 澁谷武男

皆さん、こんにちは。日頃、中々、例会に出席できず大変申し訳なく思っております。又、今回は、「職業奉仕月間」を1カ月前倒して「卓話」の機会を頂き、有難うございます。

従来ですと、地区の職業奉仕委員会の方が来られて「卓話」をして頂くのですが、今年度から地区方針が変わり、「職業奉仕の卓話」派遣が取りやめと言う事になりました。クラブの担当者に直接「職業奉仕」について、「卓話」をして欲しいという意向です。と言われても、“ハイ そうですか”と素直に請けいられれば良いのですが？ とりあえず、11月30日(土)PM1:30～ 藤沢で地区の「卓話」のセミナーがあると言う事で行って来ました。

私は、幸か不幸か、この委員会の委員長を過去に2～3回、担当をさせて頂きました。その時々、それなりに「職業奉仕」に関して若干ですが勉強をさせて頂きました。特に、2007年～08年度の地区職業委員会が作成をした「冊子」がとても良く分かりました。そのことを頭に描きながら、藤沢で研修を受けてきました。短時間での研修でしたので、成果があったかどうか分かりませんが、「職業奉仕」について、わかる範囲でお話をさせて頂きたいと思えます。よろしくお願ひ致します。

「職業奉仕は難しくてなかなか理解できないと思ひ込んでいるロータリアン」は、かなり多いようです。

★職業奉仕とは一生懸命仕事に精を出すことだ、と誤解したり。社会奉仕と混同する会員がいる一方で職業奉仕は分からないと言いつつ、実は立派に職業奉仕を実践されているロータリアンが殆どであることから、職業奉仕の理論が十分に理解されていないことは確かかもしれません。

職業人で構成されているロータリークラブですが、ロータリアンにとって会員個人の事業母体の発展や安定的な維持、利益の向上を図ることがロータリー運営を持続し発展するための大前提なのは間違いのないことだと思います。

その大前提をより大きく太くしていく為に、

★「職業人として、ロータリアンとして、何を基準としてどう行動していくのか」について、分かりやすい共通言語にした言葉が★「職業奉仕」であります。本日は、改めてロータリーの根幹である「実は凄くわかりやすく、皆さんが日々実践しておられるこの【職業奉仕】について、一緒に振り返りたいと思ひます」

さて、ロータリーの誕生、職業奉仕の歴史について振り返ってみたいと思ひます。1905年ポール・ハリスによって「親睦」と「実業互恵」を目的としたロータリーが誕生しました。スタート時点では「奉仕」の理念はまだ無かったようですね。ロータリークラブの会員間だけのエゴイズム的な相互扶助(ふじょ)の方針には賛同できず、誘われても入会を拒否していたドナルド・カーターは、自分達が金儲けをするだけでなく、シカゴ全体の発展につなげていく活動や、地域社会への貢献が大切であるとハリスに語り、地域貢献が大切であると気付かされたハリスは、社会貢献についてクラブ定款に書き加え、それを機にカーターも入会したというエピソードがあります。そして職業奉仕の父とも言える人物、アーサー・シェルドンが奉仕を用いた販売哲学をロータリーに持ち込みます。シェルドンは、ミシガン大学の経営学部で、販売学を専攻し、修士課程をトップの成績で卒業。当時開発されつつあった販売学の大家(たいか)

であります。

★シェルドンの販売学理論によれば

商取引というものは、売手買手の双方に満足なくして成り立つものではないということ、長期的に商売を成立させるためには、売手と買手の間に信用と呼ばれる信頼関係が確立されることが眼目であって、長期的に安定した利潤をあげることは、この信用という精神的境地の確立と表裏一体の関係にある。と述べています。

また彼は、どんな手段を講じようとも、富を得たものが成功者としてもはやされた19世紀の利己的な経営手法を批判し、単に自分だけが儲けようという商売から脱して、★商売とは他人に対してサービスすることであることを力説し、★20世紀の実業人を成功に導く方法は、利益を他人とシェアするというサービス学を遵守することである。と説きました。

さらにシェルドンは、持続して繁栄し発展しているいくつかの企業に共通して見られる特徴を、★サービスという言葉で表現しました。

★日本で「サービスとは価格が安いことや、特典などを指しますが、★英語では「奉仕」や「人の役に立つ」という意味なのです。★「店主や従業員の顧客への態度や気配り」「商品や業務に対する責任」「顧客や取引先そして従業員が感じる満足感と公平感」、これら全てを達成する為に奉仕(=サービス)が必要であり、「自身の職業に関わる全ての人に対する奉仕(=サービス)こそが「企業の永続的発展と成功を保証する唯一の方法である」と提唱しました。★シェルドンが、★「サービス=奉仕」の取り込みに力を入れたのは、この考えがあったからなのですね。これが、ロータリーにおける「職業奉仕」のスタートであります。職業奉仕が良く分からないというロータリアンの方々も、ご自身の職業でこの「職業奉仕」を常に意識され、既に日々実践されていらっしゃる事と思ひます。そして、1911年の第2回全米ロータリー連合会のポートランド大会において★ He profits most who serves best.「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」というシェルドンの標語が発表され、大会決議委員長は、これをロータリー宣言の最後に加えるべきだと提案し、標語はロータリーの世界に君臨し始めました。

★アーサー・シェルドンらの努力によって、「ロータリー活動の基本は自身の職業に関わるすべてへの奉仕である」、というロータリーの根本原理が定着しました。

★職業奉仕は、ロータリアン一人一人が例会に出席し、他の会員との交流・親睦を通してモラルを高め、日常生活では自分の職業に真剣に取り組み、社員はもとより仕入先や顧客など★周囲の人達のモラルを向上させ、業界の手本となり、★その業界のモラルを向上させていくことなのです。クラブの会員一人一人が、それぞれの業界を受け持って、職業奉仕の活動を続けていけば、やがては★社会全体のモラルが高まっていくことになるのです。

★ポール・ハリスの「ロータリーへの私の道」に、「ロータリークラブの会員は、その一人一人が自分の職業とロータリーの理想とを結ぶ環である」と書かれています。そしてその翌年の1912年、現在でいう「ロータリーの目的」(旧「ロータリーの綱領(こうりょう)」)が制定されました。

ロータリーの目的は、

★1、知り合いを広めることによって奉仕の機会とすること。

★2、職業上の高い倫理基準を保ち、役立つ仕事はすべて価値あるものと認識し、社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすること。

★3、ロータリアン一人一人が、個人として、また事業および社会生活において、日々、奉仕の理念を実践すること。

★4、奉仕の理念で結ばれた職業人が、世界的ネットワークを通じて、国際理解、親善、平和を推進すること。

ロータリーの存在目的とロータリアンの責務について記した声明です。

★職業奉仕は、「目的」の第2項を土台としており、ロータリアンは「職業上の高い倫理基準・役立つ仕事はすべて価値あるもの」という認識・社会に奉仕する機会としてロータリアン各自の職業を高潔なものにすることを奨励し、育むことが求められています。そして1932年、シカゴのロータリアンであったハーバード・テイラーによって「四つのテスト」が考案されました。

★1932年は、世界大恐慌の真っ只中でありました。テラーは、大不況の中で破産の危機にある会社を救って欲しいと要請され、これを引き受けます。再生するには同業者には無い何かを育成しなければなりません。

★テラーはその「何か」に社員の「人格」と「信頼性」と「奉仕の心」、言わば職業奉仕を選んだのです。

★その育成の指針として、会社の従業員が使える倫理上の尺度になる項目、

★4つのテストを作りました。

これにより、見事に危機的な状況から会社を再生させる事に成功したのです。その後、1945年にRI理事会はロータリーにも4つのテストを取り入れるべきであると決定するとともに、2004年の規定審議会において4つのテストを明記した決議を行なっています。4つのテストは、「職業奉仕の理念を端的に表すもの」として、RIから多くの言語で出版されています。日常の商取引、職場や生活のあらゆる場面で、倫理的言動・行動を実践するための指針となっています。私達も改めて、職業人としてロータリアンとして、道しるべとなる4つのテストによって自身を律し、言動・行動をして参りましょう。その後も1987年、「職業奉仕」に関する声明が発表されるなど、時代の変化に合わせて考え方の小さな修正はされてきましたが、シェルドンやテイラー達が唱えた職業奉仕の理念は、今も脈々と我々に受け継がれています。そして現在の職業奉仕は、2016年の規定審議会によって採択された条文に記されています。

職業奉仕の歴史と、キーマンとなった人物達、「ロータリーの目的」や「四つのテスト」をご紹介します。また、結局のところ「職業奉仕とは何か」については、この条文となります。

★「職業奉仕は、事業および専門職務の道徳的水準を高め、あらゆる職業に携わる中で奉仕の理念を實踐していくという目的を持つものである。会員の役割には、ロータリーの理念にしたがって自分自身を律し事業を行う」とあります。

まずは、この黄色の部分、★高い倫理基準と高潔性を兼ね備えた職業人として「奉仕の理念」「4つのテスト」を道しるべとし職業を遂行しましょう、それこそが「職業奉仕」ですよと明記されています。「言わばシェルドンやテラーの思いがギュッと詰まっている部分ですね」そして、青色の部分、この部分が2016年に追記された箇所になります。

「自己の職業上の手腕を社会の問題やニーズに役立てるために、クラブが開発したプロジェクトに応えること」と明記されています。

★クラブの奉仕プロジェクトにおいても自身の職業ス

キルを活かして、社会問題やニーズに役立てるための活動をしていこうということが書かれています。職業奉仕を一言で伝えるのは、確かに難しいですね。ただ、歴史の話も少し交えながら、この黄色と青について、伝えていく事で理解は深まると思います。これは、2008

年 RI 国際協議会の全体会議において、渡辺好政 RI 理事が「ロータリーの樹・2008」と銘打ってロータリーを「一本の樹」に例えて、ロータリーの奉仕活動における職業奉仕の位置づけを行いながら、「ロータリーにおける職業奉仕の重要性について」の講演を行った時のものを一部修正し、シカゴにおいて開催された「2013年 RI 規定審議会の審議を経て採択されたものです。皆様は何度も見てこられた資料と話だと思えますが、改めて渡辺好政氏の当時の説明の一部をご紹介します。「1905年、ポール・ハリス、シルベスター・シール、ガスターバス・ローア、ハイラム・ショーラーの4名によって創始された最初のロータリークラブは、その歴史が示すように、初めに、親睦、助け合いから始まりました。すなわち、ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」は「クラブ奉仕」であります。ロータリークラブ会員は、クラブという学校で相手のことに思いを馳せ、相手を助けるという『奉仕の理想』を学び、その真意が『共存共栄』であることがわかります。『クラブ会員』は、ロータリーの目的を基本として、H.テラーによって実証され、ロータリアンの行動規範である「四つのテスト」による奉仕活動の実際を体得することによって、『ロータリアン』に進化してまいります。ロータリークラブ会員からロータリアンに進化してゆく過程の基盤には、A.シェルドンの『超我の奉仕』、『もっとも奉仕するもの、最も多く報いられる』が存在いたします。私たちは、この2つのモットーを1枚のコインの表・裏と考えながら、日常の奉仕活動に邁進しております。ロータリーは「理念の高唱」に終わるのではなく、「行動の哲学」なのであります。非常に明快に解説されておられる、改めて見ても大変素晴らしい資料ですね。

クラブ奉仕は★ロータリーの樹に水と栄養を送る「根」であり、★職業奉仕はその上に成長する「幹」です。★根から吸収された「水」と「栄養」はロータリーの根幹といわれる職業奉仕の「幹」に入り、幹の中にある「奉仕の理想」という導管を通して★「社会奉仕」、「国際奉仕」、「青少年奉仕」という枝や葉に届き、★そして「ロータリー財団」や「米山奨学会」という花を咲かせ、多くの「実」を結んでいます。★クラブ奉仕を通じて会員相互が高め合い奉仕の理念を学び、それを自身の職業で実践する。高い倫理基準を持った高潔な職業人として成長し一層幹が太くなり、社会奉仕・国際奉仕・青少年奉仕によって多くの実を結ぶ。その根幹は「職業奉仕」で有り、この樹こそがロータリーの姿で有ります。ロータリーを通して学んでいる「奉仕の理念」を職場に持ち帰り、職業で世の中に貢献し、奉仕する。また、その職業スキルをクラブの奉仕プロジェクトで発揮する。職業奉仕を実践しましょう！

本日は、卓話の機会をいただき本当に有難うございました。ご清聴有難うございました。

と言う事で、地区の職業奉仕委員会のお話はここで終了したいと思います。今回、「卓話」セミナーに参加をして、感じたことは、自らがそのことに直接係り・実践をしてみないと中々、本質がつかめない様な事を感じました。セミナーに参加をさせて頂いて、良かったと思っております。

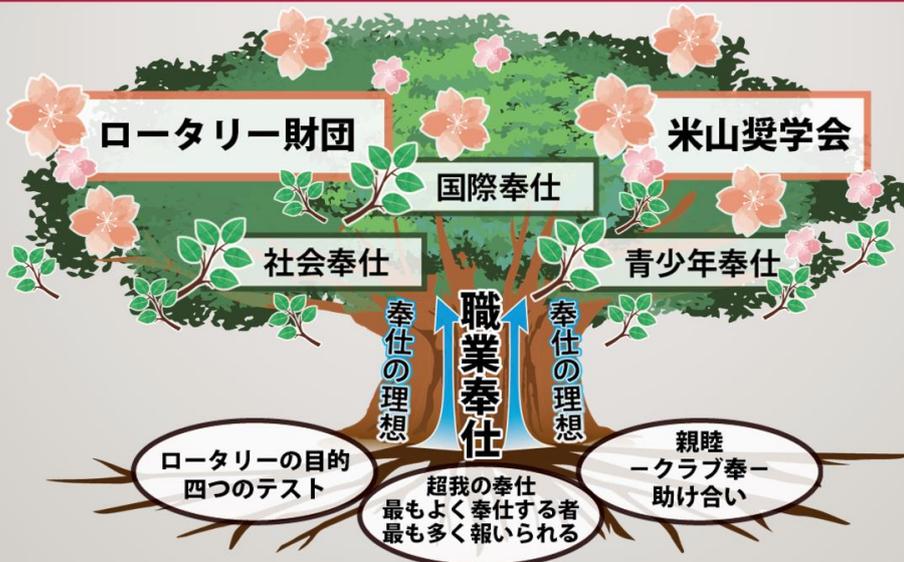
さて、当クラブの職業奉仕委員会では、活動方針、実施計画は、この様に設定をさせて頂きました。ここで、自分自身のスキルアップを図る為、3分間スピーチを実施したいと思います。当初、「砂時計」を準備する予定でしたが、柄にも似合わないので、「キッチン用タイマー」を持参致しました。こちらで行いたいと思います。どなたか、我こそはと言う方がおられましたら、お願いをしたいと思います。「お題は」・・・。(続きは別紙)



2008

ロータリーの樹

2008年 RI国際会議 渡辺好政RI理事 講演資料



お題でスピーチ「仕事とロータリー」

●神座磯男会員「職業奉仕」とは

会社の存在意義について、先ずは、会社として地域社会の役に立てる会社でなければなりません。ただ物を売ったり、仕事をお受けして取り引きすることは経営の手段に過ぎません。会社の存在目的は、社会貢献が出来社員もやりがいがあり人生を掛けられる会社こそ「職業奉仕」と言える会社であり経営者と思います。そこが実践できているかどうかは、分かりませんが、基本は全てコンプライアンスに照らし合わせ正しく生きる集団であり続けたいと考えております。



- ・点 鐘
- ・ロータリーソング「それでこそ
- ・今週の歌「たき火」
- ・ゲスト・ビジター紹介
- ・会長挨拶
- ・幹事報告
- ・委員会報告
- ・スマイル報告
- ・出席報告
- ・職業奉仕
 - ・ 温谷武男職業奉仕委員長
- ・次週の子音
- ・点 鐘
- ・定例閉



職業奉仕月間

相模原グリーンロータリークラブ
2024-2025年度
職業奉仕委員会



Xmas のカラー衣装のピアノ演奏 田中知子先生



12/7 野田英樹会員より熱海の宴会旅行の余興にて
高橋和也会員 (Mr. TK) のマジックショーの様子

12 月は他 RC へのマジックショーも多数あります。

委員会報告

§ 親睦委員会 高橋和也委員長他 4 名

12/21 (土) に「クリスマス例会」を新横浜プリンスホテル、3 階のファンタジアにて実施します。受付開始 17 時 30 分、点鐘 18 時です。参加費は大人のお食事を注文の方のみ一人 5000 円を収集させていただき、子ども料理の方は無料です。プレゼント交換会をしますので、1 会員に 1 つ (3000 円程度) プレゼントをご持参下さい。当日は司会を林田さんと今井さんがします。今回、参加費 5000 円をいただくのは、欠席の方との差をつけるように収集させて頂く事になりました。3000 円程度のプレゼントというのは、何か貰ったものでも構いませんし、食品ではない物にして頂けると助かります。皆様のご協力を宜しくお願いします。

【今週のコラム 中村昌治】

『高田橋の歴史』

相模原納涼花火大会の打ち上げ会場下流の高田橋はそれまでの渡し舟に代わり大正 13 年に木造の橋として建設されました。名称は当時の愛甲郡高峰村 (現愛川町角田) と高座郡田名村の頭文字から「高田橋 (たかたばし)」と名付けられました。しかしながら、翌年の洪水で流されてしまった為、本格的な鉄製の橋を建設し、昭和 4 年 (世界恐慌の年) に二代目の橋が架けられました。この橋は人、車、に加えて、当時愛川村田名までの延伸計画があった「相武電気鉄道 (資金難で後に計画中止)」も通す予定となっていました。にぎやかな通り初めの写真を「相模田名民家資料館」で観ることが出来ます。この橋は頑丈でしたが、幅員が狭かったことから、昭和 50 年に二代目の橋の下流側に三代目の橋が完成し、現在に至っています。皆様、ゴルフ等で高田橋を渡る機会が御座いましたら「この橋は J Soul Brothers (ジェイ・ソウル・ブラザーズ) と一緒に 3 代目なんだよ」と、橋のうんちくをご披露願います。



<他クラブ例会変更>

- ・津久井中央 RC 12/19(木)移動 津久井商工会館
- ・相模原南 RC 12/24(火)休会 レンブラントホテル
- ・相模原西 RC 12/25(水)移動・夜間
- ・相模原 RC 12/26(木)休会 ビジター受付無し
- ・津久井中央 RC 12/26(木)休会 津久井商工会館
- ・相模原南 RC 12/31(火)休会 レンブラントホテル